

「SDGs時代のインフラ・ファイナンスについて考える」

開催報告

11月26日に、水道橋の日本大学経済学部講堂で、途上国における交通施設整備のインフラ・ファイナンスに関わるセミナーが開催されました。プログラムは以下の通りです。



1. JICAの運輸交通・都市開発への取組
安達 一：JICA 社会基盤・平和構築部長
2. ADBの都市・インフラ開発への取組
スティーブン・ルイス・ワークマン：
ADB シニアスペシャリスト（交通分野）
3. 交通インフラに対する投資とリスク評価
手塚 広一郎：日本大学 経済学部 教授
4. インフラ投資のスピルオーバー効果を活用したファイナンス手法
吉野 直行：ADB 所長
5. 質疑応答・意見交換

本セミナーは、本年7月31日に開催された、「途上国における鉄道整備と都市・地域開発のあり方」の続編の位置づけで、都市開発や交通施設整備を行う場合の、ファイナンスのあり方について焦点を当て、なおかつアジア開発銀行研究所（ADB）の協力も得て、関連する専門家に話題提供をお願いしました。資料はすべて英語でしたが、プレゼンは日本語で、ワークマン氏にも分かりやすい日本語で解説頂きました。最後の質疑応答では、40分を超える、フロアと講演者らとの充実した討議も行われ、様々なアイデアや、気づきを参加者にもたらして頂けたように思います。

今回も、登録参加者数が120名を越える大盛況でした。本テーマに関連する、一連のセミナーの企画や、従来から継続している「海外交通計画セミナーシリーズ」の次回開催準備も始めたいと思いますので、今後どうぞご期待ください。

また、講演者の皆様、セミナー運営に多大なご協力を頂いたADB, JICA, そして日本大学関係者に感謝申し上げます。

EASTS-Japan事務局長
兵藤 哲朗（東京海洋大学教授）

The way to attract private investors into infrastructure by use of spillover tax revenues

Naoyuki YOSHINO
Dean & CEO
Asian Development Bank Institute (ADB)
Professor Emeritus, Keio University

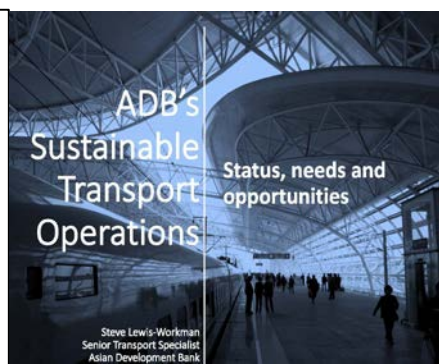
November, 2018



JICA's Activities for Transportation Sector

26 November, 2018

JICA, Infrastructure and Peacebuilding Department
Managing Director, Itsu ADACHI



Investment and risk appraisal in transportation infrastructure projects

KOICHIRO TEZUKA, PROFESSOR,
NIHON UNIVERSITY, COLLEGE OF ECONOMICS

